



御建第 80 号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 様

御船町長 山本 孝



中期的な計画の作成にあたっての意見書の提出について（回答）

平成19年4月2日付け国道企第114号で依頼のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

1. 今後の道路政策や道路の整備・管理について

・重点化を進める上で特に優先度の高い政策

「現状と課題」

本町は、市街地の構造として国道沿線を中心に発展してきたため、近年特に朝夕の通勤時間帯に中心部に交通渋滞が目立つようになっている。

そこで今後の重点化を進める上で、渋滞対策・交通弱者対策・日常の暮らしを支える幹線道路の整備が必要と思われる。

・効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

「現状と課題」

本町の総面積は99k㎡となっているが、その大半が中山間地で形成されている。平坦地においては優良農地(基盤整備)が確保され、また、中山間地においても農地が点在し農産物のブランド化が図られている。

また、観光地についても季節を問わず町内外からの来訪者も多くなっている。

そこで今後の効率化を進める上で、地域住民の意見が反映される取り組みと既存のストックを生かした(コスト削減)道路整備を進めることが必要と思われる。

・その他、道路政策や道路の整備・管理全般に関する意見

「現状と課題」

本町においては、高度経済成長期に築造された道路橋梁が多数ありこれらの維持管理については今後道路橋梁の寿命の延伸を図る必要がある。

そこで今後の維持管理を適正に進める上で、専門家による委員会を立ち上

げる必要がある。

また、九州横断自動車道(延岡線)の建設促進並びに御船地区内に地域活性化インター（ランプ）の整備により観光の振興や産業振興など中山間部の過疎化対策として事業効果が見込まれている。

また、直結する一般県道、町道の整備も併せた広域的道路ネットワークの形成が必要と思われます。